

## 平成30年度学校評価（学校教育に対する意見や感想）

○ 良いと思われるところ ● 改善したら良いと思われるところ → 校長からの回答

### 学校行事・生活面等について

○ 先生皆様で協力されて生徒一人一人にとっても手厚く対応されていると思います。少人数だからこそ一人一人にしっかり向き合うことができているように思います。

○ 様々な行事を通し、いろいろな体験ができる。

○ 文化祭での3年生の人権劇が本当に素晴らしく、心に残っています。人権劇はこれからも続けてほしいです。

○ 朝のあいさつ運動。あいさつはこれからの生活でもとても大切なことなので、みんなが大きな声で気持ちよくできるよう続けてほしいです。あいさつ運動の時に学校の前を通るのですが、先生方、生徒の皆さんが頭を下げてあいさつをしてくれるので、ほっこりとした気持ちになります。

→ とてもありがたい感想です。ですが、地域へ帰ってのあいさつが今一つの意見もいただきました。あいさつの大切さを機会のあるごとに伝えていきたいと思います。

○ やる気のある生徒であれば、どんどん学習し、よりよく生活できる環境だと思います。

○ 運動会のフォークダンスが今年は創作ダンスに変更されていて子どもたちがみんな笑顔で踊っていて、見ていてこっちまで楽しくなりました。

○ 文化祭でバザー活動を取り入れたところ。役員の皆様には本当に感謝の一言です。「親子で作り上げる文化祭」という感じで、とても印象に残りました。

→ 保護者の皆様のご協力のおかげで、たいへんすばらしい文化祭になったと思います。ありがとうございました。

○ ろ漕ぎ大会を中止にせずに実施して下さった所に感謝しております。

● 地域・学校行事が多いので忙しそうです。一つ一つじっくり取り組む時間ができたらいいかなとも思います。

→ 地域・学校行事につきましては、少しずつ精選していかなければならないと考えています。地域の方々や保護者の方々のご意見を伺いながら、縮小したり、やめたりしていきたいです。

● 考え方や行動に自主性を持ち、多様なことがらを受け止める活動ができる子どもを育てる土壤が整えられると良いと思います。小規模校だからこそできる柔軟な対応を期待しています。

→ 生徒一人一人の個性を大切にしたい学校を目指しています。しかし、小規模校は小規模校ゆえに教員の数も少なく、対応しきれない場面も出てくると思います。来年度から始まるコミュニティスクールで地域の方々や保護者の皆さんの協力が増えれば、もう少し多様な対応ができるのではないかと、私自身も期待しているところです。

### 学習面等について

○ 勉強なども個人に合わせてがんばってくださっていると思います。

○ テスト期間の補習（学習相談）はいい。

○ 地域の方とのふれあい交流学习会、職場体験、国立療養所長島愛生園の見学、人権学習はいつも素晴らしいと思います。私はともすれば閉鎖的なイメージの離島の子どもたちに「学校」以外の教育環境をどんどん与えてあげて、どんどん沢山の人間と出会い、机上の学習だけが「勉強」じゃないことを学んでほしいです。

○ 学習しやすい生徒数だと思うので、先生が目が行き届いて、一人一人に目配り、気配りが良いと思

います。校外学習を文化祭に取り入れるなど1つの学習で、2つも3つも学んでいる形となっていることが良い。

● **子供のわからない所に対して、もっと丁寧にわかるまで教えてやってほしい。**

→ 教員は、分かるまで教えるのが当たり前のことですが、そのように感じられる言動があったのなら申し訳ありませんでした。本校は学力向上を大事な柱と考えて、「みんなの学習クラブ」の導入により、自ら学ぶ機会を提供したり、週2回「学習タイム」を設定して補充学習を行ったりしています。まだまだ、十分ではないと思いますので、研修を重ね、一人一人が分かる授業を目指して、これからも改善を加えていきたいと思っています。ご家庭の方でも宿題をきちんとしているか、予習・復習をしているか、確認していただくとありがたいです。宿題忘れは多く、放課後、部活動に参加せずに忘れた宿題をしている生徒もいます。授業で学習したことを定着させるには、家庭学習も大切だと思います。ご協力をお願いします。

● **参観日は、道徳以外の科目が見たい。**

→ 本校は授業参観日が4月と12月しかなく、学級担任が授業を行うので、学級活動や道徳になることが多いようです。来年度からは、4月はできるだけ教科の授業を行うようにします。12月は人権教育参観日ですので、道徳か学級活動になると思います。来年度から、「学校参加デー」なるものを設けて、「この日は自由に授業を参観してください」とできたらと考えています。そのときは、ぜひ、授業を見に来ていただければと思います。

**学校と保護者との連携等について**

○ **先生方と保護者との話合いの場などをとりやすく、子どものことで相談などしやすいので、子どもたち間での問題など伝えやすい。**

○ **小・中で打ち合わせ、行事や懇談を同日開催しているところは助かります。**

○ **子どもの問題点によく話を聞いていただき、改善していただき有り難いです。**

● **中学校の様子や取り組みがよくわかるので、各学年のホームページを毎日更新してほしい。**

→ 今年度、毎日の更新を目標に頑張ってきたのですが、不十分な面もあったと反省しています。来年度はホームページ担当を各学年に1名ずつ置くなどして、充実を図りたいと思います。

● **ふれあい学習や人権の参観日での講演の感想やアンケートの内容についての公表してほしい。**

→ たいへん失礼しました。子どもたちの感想の一部は学校だよりに掲載していますが、せっかく地域の方々や保護者のみなさんに書いていただいた感想ですので、教育委員会と相談して一部でもホームページ等で公開したいと思います。

**部活動・運動等について**

○ **因島駅伝に出場したところ。もっともついろいろな地域の大会に参加させてほしいです。**

○ **部活動の休みも増えて、学校に縛られすぎず良いと思う。**

○ **部活動を水曜日に休みにしたことは、生徒や先生にとっても良いことだと思う。**

● **駅伝大会には1回でも試走をして出場させてほしいです。先生も忙しいと思いますが、お願いします。**

→ できるだけ試走をさせたいと考えているのですが、町外の場合、休日に行うしかなく、車の手配や引率人員の確保が難しい場合もあります。保護者の方々に協力をお願いできれば、もう少し試走も可能かと思います。ぜひ、ご協力ください。

● **応援に行きたいので、部活の大会の日にちを早目に知らせてほしい。**

- 部活動の指針が出されたが、平日や休日の活動時間等において守られていないことがある。
  - 部活動で予定表では練習日となっても、その日に休みになって早く帰って来るなどその日に予定が変わることがあるようです。前もってわかっていることであれば、子どもに連絡として言うておくなどしてほしい。
- 今年度の2学期から毎月の部活動計画をホームページに掲載するようにしました。計画を変更した場合には、生徒を通じて保護者に知らせるようにしていますが、徹底できていなかったようです。申し訳ありません。もう一度、教職員で共通理解を図り、指針に沿った活動を行っていきたいと思います。しかしながら、大会が近い場合などは、少し活動時間が長くなることや、部活動の顧問は、子どもの成長を願って、一生懸命活動していることをご理解いただきたいと思います。
- 部活や陸上、駅伝などの練習の際、もっと子供達はそのスポーツの良さ、楽しさに加え、厳しさ、難しさなどを子供達自身が自分なりにつかみ取って理解できるような声かけ、指導をしていただきたいと思ひます。
- もっと頑張れるはず、もっと頑張してほしいとの願ひから、厳しい声かけをする場合もあると思ひます。それを「自分自身を否定された」ととる生徒もいるかもしれません。基本は「褒めて伸ばす」ことが大切かと思ひますが、それだけでは、次の段階へ進むことは難しいかと思ひます。時には、厳しい声かけをし、それに対して「なにくそ」という気持ちで取り組んでこそ大きく成長できると思ひます。そんな気持ちを込めて声かけをしていることをご理解ください。ぜひ、どのような練習をしているかを、見に来ていただいて、保護者の皆さんからも子どもに声をかけていただくとうれがたいです。
- 部活が終わり、家に帰る頃が暗いので、安全面を優先させて冬だけでも17:30下校（人通りもある時間と思うので）にしてほしい。学校から家までの通学路で灯りがない所（暗い所）があるので心配です。
- 安全面を考えると、ごもっともなご意見かと思ひます。冬場の日没が早い時期については、検討させていただきます。

## その他

- このような設問があること自体、学校が危機感を本当の意味でもっていないということだと思ひます。全てはできていて当然なものだと思ひます。
- 教職員には、「生徒の些細な変化も見落とさないように」ということをたびたび言うてきました。何かあれば全員で情報を共有し、全教職員で解決にあたる体制もできつつあります。自分たちは、今年行った活動の中で反省点を洗い出し、来年度に繋げていきたいと考えています。また、今年の活動の中でよかった点は、改善を加えながらさらに良いものにしたいと考え、このような設問をさせていただきました。けっして、自己満足のための設問ではないことをご理解ください。
- 学校として当然にできているはずのことができていないのに、コミュニティスクールだ何だと見せかけばかりの中身のないことばかりに手を出すのはやめてほしい。いらぬことをせず、「普通の学校」を目指すべきである。
- コミュニティスクールの導入には、地域の方々や保護者の皆さんの協力を仰ぎながら、さらにいい学校にしていこうという思いがあります。たぶん、ここ数年のうちに、県下の全部の学校がコミュニティスクールになると思ひます。学校だけではできないこと、解決できないこともあります。さらにいい学校にしていくなためにも、ぜひ、ご協力をお願いします。